

県産農畜水産物の消費行動・認知度等に関するアンケート調査結果

農政課

1 調査目的

県民の皆さんの安全・安心な食生活等について現状や意識を把握し、今後の施策の参考とするため、県民の皆さんの意見や感想を伺いました。

2 調査対象等

調査対象: 県政モニター839人(郵送モニター:194人 インターネットモニター:645人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和6年12月2日～12月27日

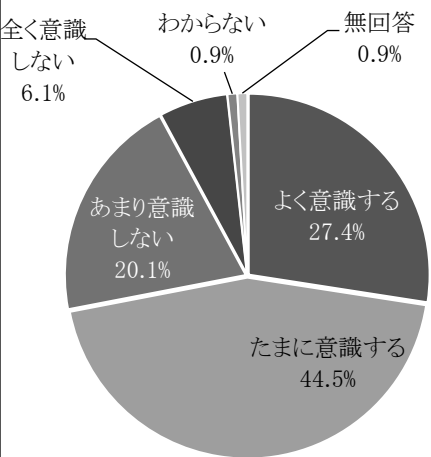
回収結果: 685人(回収率81.6%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

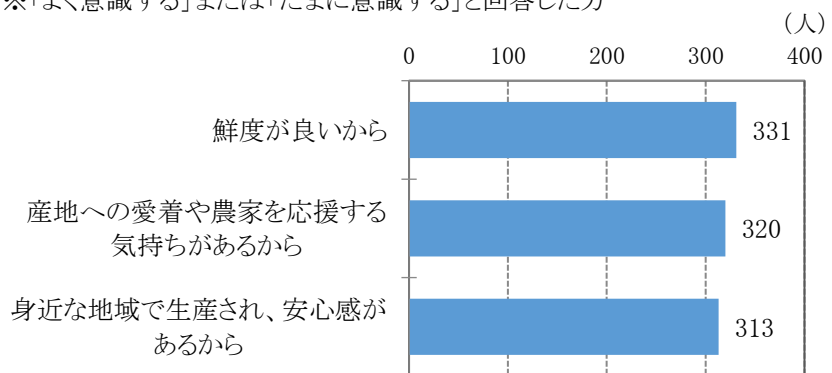
3 結果概要

○地産地消に対する意識

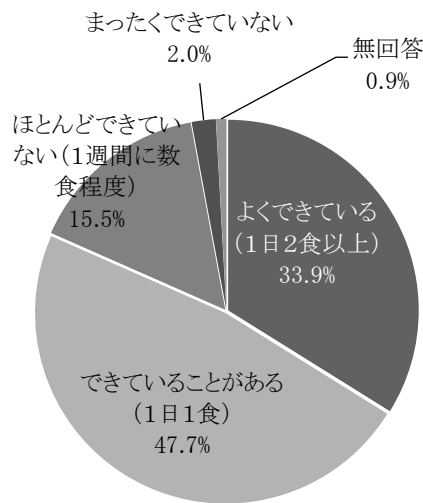


【意識する理由(上位3つ)】

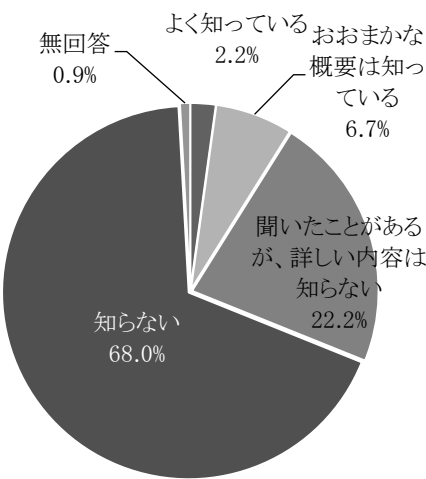
※「よく意識する」または「たまに意識する」と回答した方



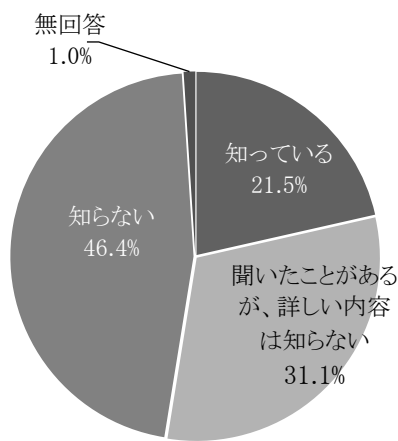
○バランスのとれた食生活



○ぎふ清流GAPの認知度



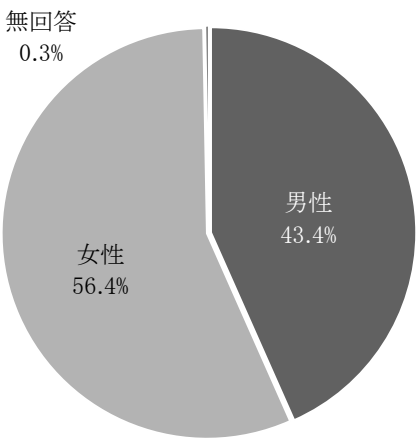
○世界農業遺産「清流長良川の鮎」の認知度



4 回答者属性

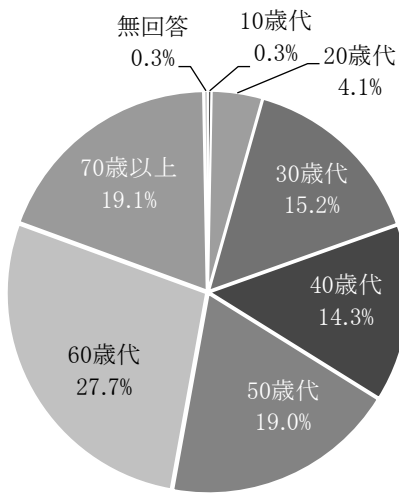
(1)性別

	人数	割合
男性	297	43.4%
女性	386	56.4%
無回答	2	0.3%
計	685	100.0%



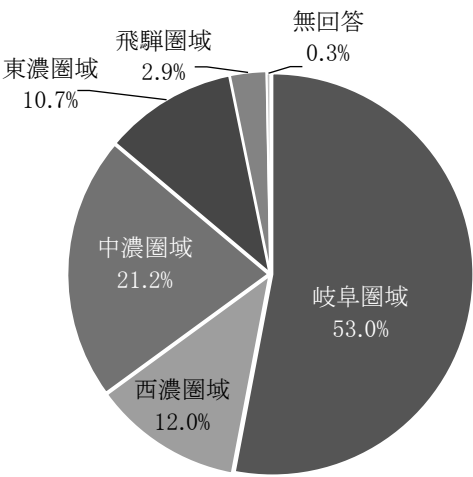
(2)年代別

	人数	割合
10歳代	2	0.3%
20歳代	28	4.1%
30歳代	104	15.2%
40歳代	98	14.3%
50歳代	130	19.0%
60歳代	190	27.7%
70歳以上	131	19.1%
無回答	2	0.3%
計	685	100.0%



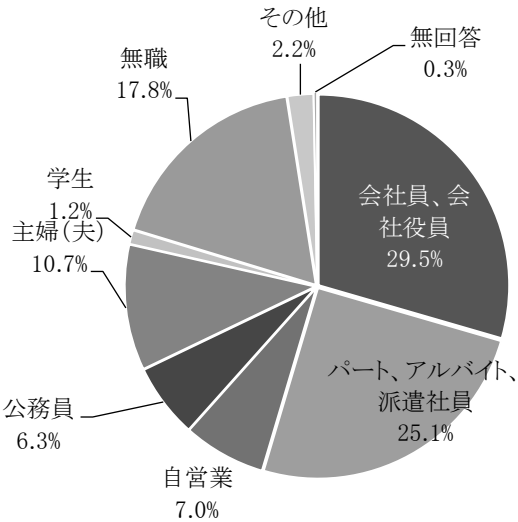
(3)居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	363	53.0%
西濃圏域	82	12.0%
中濃圏域	145	21.2%
東濃圏域	73	10.7%
飛騨圏域	20	2.9%
無回答	2	0.3%
計	685	100.0%



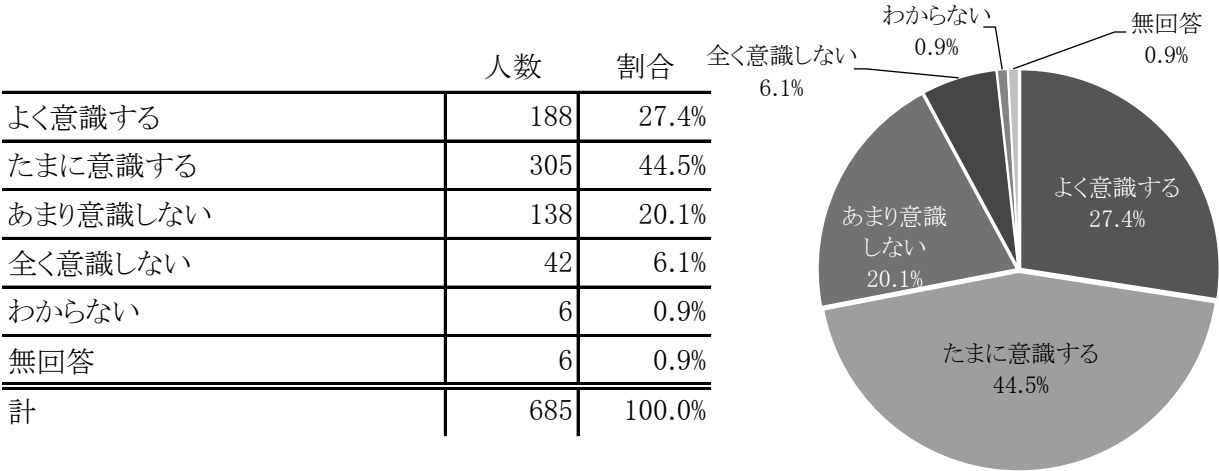
(4)職業別

	人数	割合
会社員、会社役員	202	29.5%
パート、アルバイト、派遣社員	172	25.1%
自営業	48	7.0%
公務員	43	6.3%
主婦(夫)	73	10.7%
学生	8	1.2%
無職	122	17.8%
その他	15	2.2%
無回答	2	0.3%
計	685	100.0%



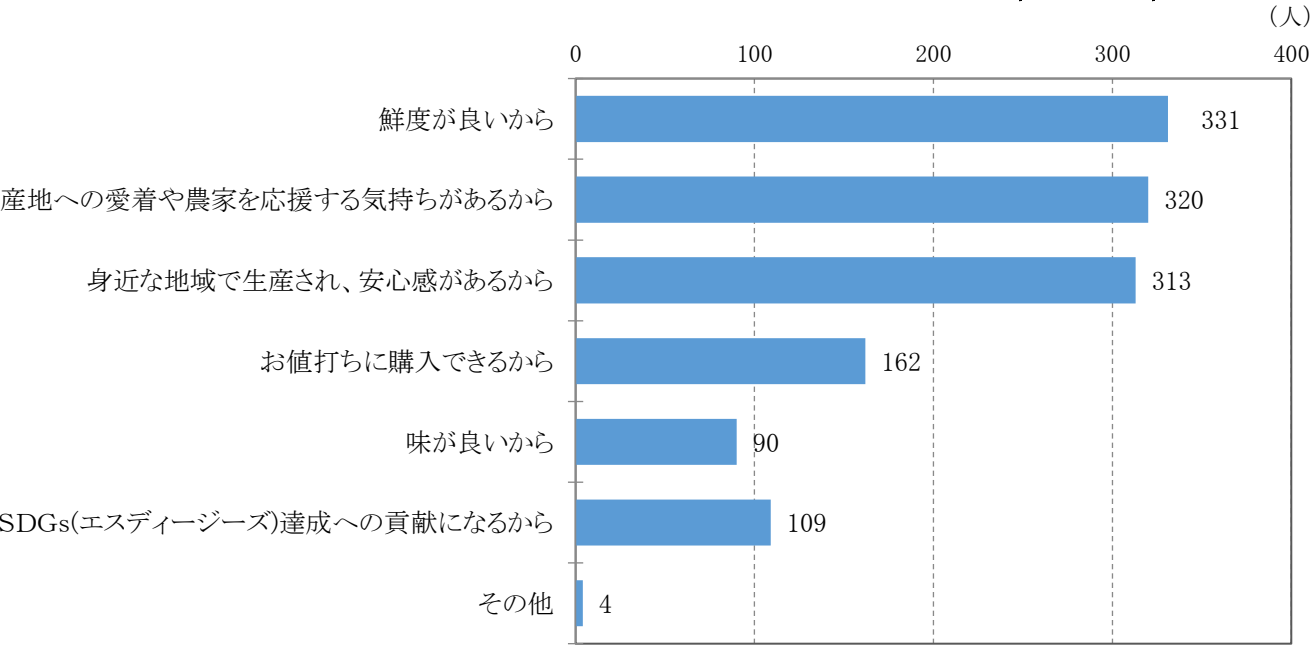
5 調査結果

問1 農産物を購入するとき、岐阜県産のものを選ぶなど「地産地消」を意識していますか。



問2 (問1で「よく意識する」または「たまに意識する」と答えた方)
地産地消を意識して購入するのはなぜですか。 (複数回答)回答者493人

	回答数	割合
鮮度が良いから	331	67.1%
産地への愛着や農家を応援する気持ちがあるから	320	64.9%
身近な地域で生産され、安心感があるから	313	63.5%
お値打ちに購入できるから	162	32.9%
味が良いから	90	18.3%
SDGs(エスディージーズ)達成への貢献になるから	109	22.1%
その他	4	0.8%
計(延べ)	1,329	-

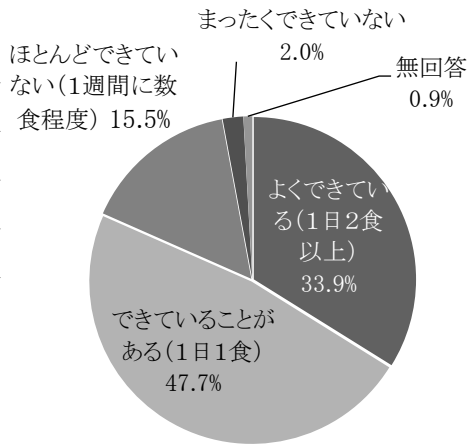


「その他」のうち主なもの

- ・ 県民の一人として、地元の農業の発展に少しでも寄与したい。

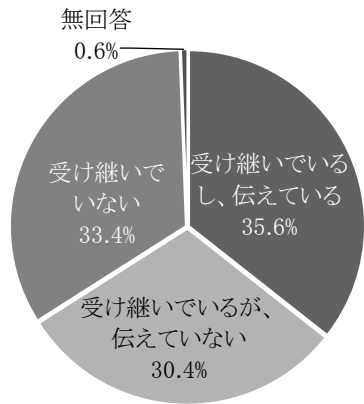
問3 主食、主菜、副菜を基本にバランスのとれた食生活を送っていますか。

	人数	割合
よくできている(1日2食以上)	232	33.9%
できていることがある(1日1食)	327	47.7%
ほとんどできていない(1週間に数食程度)	106	15.5%
まったくできていない	14	2.0%
無回答	6	0.9%
計	685	100.0%



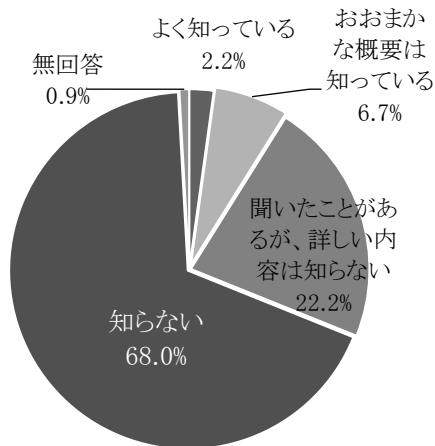
問4 郷土料理や伝統食など、地域や家庭に伝わる料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法について受け継いでいますか。また、地域や次世代(子どもやお孫さんを含む)に伝えていますか。

	人数	割合
受け継いでいるし、伝えている	244	35.6%
受け継いでいるが、伝えていない	208	30.4%
受け継いでいない	229	33.4%
無回答	4	0.6%
計	685	100.0%



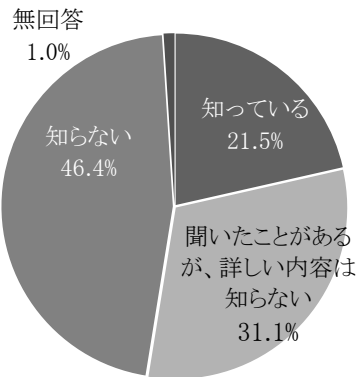
問5 「ぎふ清流GAP評価制度」あるいは「ぎふ清流GAP農産物」をご存じですか。

	人数	割合
よく知っている	15	2.2%
おおまかな概要は知っている	46	6.7%
聞いたことがあるが、詳しい内容は知らない	152	22.2%
知らない	466	68.0%
無回答	6	0.9%
計	685	100.0%



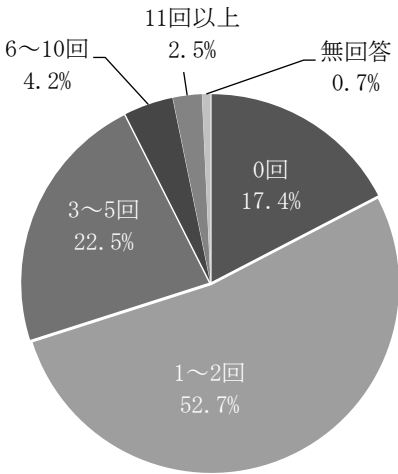
問6 「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定されたことをご存じですか。

	人数	割合
知っている	147	21.5%
聞いたことがあるが、詳しい内容は知らない	213	31.1%
知らない	318	46.4%
無回答	7	1.0%
計	685	100.0%



問7 あなたは、鮎料理を1年に何回程度食べていますか。

	人数	割合
0回	119	17.4%
1～2回	361	52.7%
3～5回	154	22.5%
6～10回	29	4.2%
11回以上	17	2.5%
無回答	5	0.7%
計	685	100.0%



問8 県農政及び安心安全な食生活に関してご意見などがございましたら、お聞かせください。
 (主な意見)

《安心・安全な農産物について》

- ・食の安全については、正しい情報の周知が必要だと思います。

《農産物の地産地消について》

- ・学校給食の地産地消を進めて欲しいと常々思っている。
給食費無償化が多いが子供の為なら給食費は負担が増えてもいいから良いものを食べさせてあげたい。少数派かもしれないがこういった意見があることも知って欲しい。
- ・岐阜県には美味しい郷土料理がたくさんあるので子供達に伝えられるように料理していきたいです。
- ・循環型社会は大切です。食においても地産地消を進めてください。
- ・現代の子供はお魚の食べ方を知りません。教育の場でお作法とか食べ方を特別授業として取り入れるべきだと思います。

《食料自給率・食料安全保障について》

- ・岐阜県に住む人たちの食料自給率を少しでも高めることを目指してください。
- ・食糧自給率を高めることを第一に、耕作放棄地を絶えず耕作可能な状態を保つ努力と方策の策定が必要かと思われます。

《農産物のPRについて》

- ・ぎふ清流GAP評価制度については、ほぼ知りませんでしたが、昨今減少している農業を継続させるためにも重要な取り組みだと思います。
- ・地域でも農業の担い手が減ってきており貴重な担い手が安全に配慮して取り組んでいる状況を評価する制度は良いと思います。
- ・一般県民にとって認知度が低いので、もっと親しめるよう情報発信してほしいと思います。
- ・もっと、取り組みを住民へアピールした方が良い。とても良い取り組みだと思うが、全く知らない。実際、購入するスーパーやコンビニなどでもアピールした方が良い。

《その他、農政に関する意見》

- ・ 農業人口の減少が岐阜県も進んでいるのがどうか気になっています。耕作放棄地が増えていると感じています。
- ・ 清流長良川の鮎に対する県の取り組みは、立派であると思います。また、コクチバスへの対策をさらに進めていただきたいと思います。
- ・ 若い人が農業に関心を持ち、就農する魅力ある農業を推進してほしい。
- ・ 定住支援と耕作放棄地のマッチをもっとしたほうがよい。また法人参入や土地マッチングが後退しているようにしかみえない。市でも農地付きの一軒家の問い合わせは多くあるらしいが、管轄がまたがるので十分なフォローができていないと聞きます。
人口減少と農業については横断的な課題解決パッケージ政策にしたほうがよい。